学校番号	２１２

令和８年度　家庭科

教科	家庭	科目	家庭基礎	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	家庭基礎 気づく力 築く未来　（実教出版）						
副教材等	最新生活ハンドブック 2026 資料＆成分表＆ICT（第一学習社）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

家族・家庭，衣食住，消費や環境など，生活を主体的に営むために必要な知識だけでなく、実際に体験し、実習することで確かな技能を身につけ、理解を深めましょう。
当たり前のことだと思っていた家庭や地域及び社会における生活の事象の中から課題を見いだして考察するなど，生涯を見通して生活の課題を解決する力を養いましょう。
学校内だけではなく、さまざまな人々と出会い，たくさんの価値観や考えに出会いましょう。自分や家庭，地域の生活を主体的に創造しようとする態度を養い、豊かな人生を創造しましょう。

２　学習の到達目標

・人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的にとらえ，家族・家庭，衣食住，消費や環境など，生活を主体的に営むために必要な理解を図るとともに，それらにかかわる技能を身につけるようにする。
・家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定，解決策を構想・実践，考察するなど，生涯を見通して生活の課題を解決する力を養う。
・さまざまな人々と協働し，地域社会に参画しようとするとともに，自分や家庭，地域の生活を主体的に創造しようとする実践的な態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的にとらえ，家族・家庭の意義，家族・家庭と社会とのかかわりについて理解を深め，生活を主体的に営むために必要な家族・家庭，衣食住，消費や環境などについて理解しているとともに，それらにかかわる技能を身につけている。	生涯を見通して，家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につけている。	さまざまな人々と協働し，よりよい社会の構築に向けて，課題の解決に主体的に取り組んだり，振り返って改善したりして，地域社会に参画しようとするとともに，自分や家庭，地域の生活を創造し，実践しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学	単元	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	これからの人生について考えてみよう	自分の未来予想図を描こう～生涯発達と発達課題～	a:自分自身について考えるワークシートや将来についてのレポートなどを通して、自分や、人の一生についての考えをまとめることができる。 b:人生の各ライフステージの特徴と課題について知り、少子高齢社会、男女共同参画社会などの社会状況を考えながら、自分の生活や将来について考えを深め、発表などを通じて考えを表現することができる。 c:現在の自分のこと、将来の生活設計を考えることについて、意欲を持って取り組もうとしている。	定期考査	定期考査 ワークシート	ワークシート
		これからの人生をデザインする	a:自分自身や現在の社会状況を客観的に知り，将来を見通した人生設計への課題をみつけることができる。 b:自分の近い将来についてのキャリアや生活についての設計を考え，ワークなどを用いてそれらを具体的に描いていくことができる。	定期考査	定期考査 ワークシート	
	衣生活を作る	人と衣服のかかわり	c:自分の衣生活をとりまく状況について関心をもち，衣生活の改善・向上に積極的に取り組もうとする。			ワークシート
		衣服の素材の種類と特徴	a:衣服の素材の種類や特徴について知識を身につけ，用途に応じてどんな衣服が適切か理解できる。 b:衣服の用途によって，適切な衣服素材を考え，判断することができる。	定期考査	定期考査 ワークシート	
		衣服の選択から管理まで	a:衣服材料の性能と特徴，衣服整理についての科学的な知識を身につけることによって,衣服を適切に選択し,管理することができる。衣類の購入から廃棄まで，計画的な衣生活を営む知識を身につけて	定期考査	定期考査 ワークシート	

			いる。 b:衣服材料・衣服整理についての基礎的な知識を身につけ，実生活での衣服管理において，適切な判断ができる。			
		持続可能な衣生活をつくる	a:不要となった衣類について,リサイクルに回す,作りかえるなど，実生活において実践することができる。 b:現在の衣生活をとりまく状況について，自分の衣生活を振り返りながら，課題を導き出すことができる。	定期考査	定期考査 グループでの話し合い	
		衣服の構造・デザイン	a:材料の選択，日常の衣服管理の方法を習得するとともに，基礎縫いなどの縫製技術を身につけ，日常着の管理ができる。 c:基礎縫いの確認のための実習や,衣服調査などにおいて,積極的にとりくもうとする。	定期考査 被服実習		レポートの作成 被服実習
	消費行動を考える	消費行動と意思決定	a:消費行動について，さまざまな情報を収集しながら，自分の消費行動について検証することができる。 b:消費行動における意思決定の過程について，具体的な事例を通して主体的に考え，判断することができる。 c:自分が一消費者であることを自覚し,物･サービスの購入のあり方や,消費行動,消費と環境とのかかわりについて積極的に理解しようとする。	定期考査	定期考査 ワークシート	ワークシート
		消費生活の現状と課題	a:消費行動における意思決定の過程とその重要性について理解でき，また契約についての知識を身につけている。 b:多様化する販売方法や支払い方法について，問題点や解決策を考え，判断することができる。	定期考査	定期考査 グループでの話し合い	
		消費者の権利と責任	a:消費者の権利と責任などについて理解できるとともに，現代の消費生活の課題について認識できる。 b:消費者としての自覚を持	定期考査	定期考査 ワークシート	

			ち，消費者の権利と責任を考えることができる。			
		ライフスタイルと環境	a:家庭生活と資源・環境との関係についての知識を身につけている。 b:消費行動と環境とのかかわりについて，生活と関連させながら課題をみつけ，解決の方向性を判断することができる。 環境に関するグラフなどから，生活における消費行動の問題点を導き出すことができる。	定期考査	定期考査 ワークシート	
	経済的に自立する	暮らしと経済	a:家庭経済・国民経済などのしくみについて理解でき，短期・長期的経済計画の重要性を認識できる。 b:現在の経済社会と家計との関係を考えながら，家庭の収入・支出・預金などについて，適切な考えをもち，判断ができる。 c:自分の経済的自立を考えながら,家庭経済・国民経済のしくみや家計の特徴について，積極的に理解しようとし，短期・長期の経済計画について意欲的に取り組もうとしている。	定期考査	定期考査 グループでの話し合い レポート	グループでの話し合い レポート
		将来のライフプランニング	a:短期・長期の経済計画にかかわる実習を通して，経済的な側面から人生設計を組み立てることができる。 b:将来のライフイベントとその費用を考えることができる。	定期考査	定期考査 ワークシート	
	生活設計		b:精神的な自立，経済的な自立,生活的自立,性的自立に向けてこれからの人生を考え，設計できる。		レポートの作成	
	社会と関わる	支えあって生きる	a:社会福祉の意味，現在の社会福祉の状況，社会保障制度のしくみについて理解できる。	定期考査	定期考査 ワークシート	グループでの話し合い 発表

			b:社会福祉や生涯を通しての社会保障制度のしくみについて，現在の生活課題と関連させながら考えることができる。 c:生涯を通しての社会福祉・社会保障のしくみや地域での支え合いのしくみについて意欲的に理解しようとしている。			
		共生社会を生きる	a:ボランティア活動の意義について理解できる。 b:自分たちの暮らす地域の福祉について、調査などを行い、自分でできることは何かを導き出すことができる。また、参加した活動についてレポートにまとめることができる。 b:支えあう社会とは何かを主体的に考え、社会福祉についての考えをまとめることができる。また、社会において自分のできることは何かを導き出すことができ、それを支えあいの活動などの実践に生かすことができる。 c:社会の一員としての自覚を持ち、ボランティア活動や支えあう活動への興味・関心を持って、調査・参加しようとしている。	定期考査	ボランティア実習	ボランティア実習レポートの作成
		ホームプロジェクト	a:家族の生活時間や，食・衣・住に関すること，ボランティア活動など，自分で関心のあること，また生活から見えてくる課題を探すことができ、それに対する具体的な解決方法を考えることができる。 b:自身の活動についてレポートにまとめることができる。	レポートの作成	レポートの作成	
		高齢社会に生きる	a:高齢化社会の現状や課題について情報収集，調査・研究をし，課題解決に向けて考えをまとめることができる。 b:高齢社会の課題やその解決にむけて，新聞記事などを収	定期考査	定期考査 レポートの作成	レポートの作成

	高齢者と関わる		集し・分析する課程において，課題の発見，解決の方向を導き出すことができる。 c:高齢社会の現状，高齢者の心身の特徴や生活について積極的に知り，高齢者とかかわろうとしている。			
2学期		高齢者を知る	a:高齢社会の現状や高齢者の心身の特徴について理解している。 b:高齢社会の現状や高齢者の生活を知ることにより、高齢者の自立した生活とは何か、自分の考えをまとめることができる。 b:高齢者へのインタビューなどで高齢者を知り、高齢者とかかわることで、高齢社会に関する課題を導き出すことができ、それをレポートなどで表現することができる。	定期考査	定期考査 グループでの話し合い 高齢者との交流 発表 レポートの作成	
		高齢者の自立を支える	a:認知症の高齢者と接するときに必要な心がけを理解している。介助技術や車椅子の扱い方を理解している。 b:要介護の高齢者と接する上で気をつけるべきことを考えることができる。	定期考査	定期考査 ワークシート 体験実習	
		高齢社会を支えるしくみ	a:高齢期を支える社会的な制度・しくみについて理解している。高齢者の生活における地域社会の役割，地域福祉の重要性について理解できる。	定期考査		
	食生活をつくる	日本の食文化の形成	a:日本の食文化について，成り立ちや特徴を理解できる。 b:自分の地域の郷土料理について，歴史や料理の作り方を調べてまとめることができる。 自分の地域の郷土料理と他の地域の郷土料理を比較し，違いを自分の言葉で表現できる。	定期考査	定期考査 レポートの作成	
		私たちの食生活	a:食事の意義や役割，食生活をとりまく環境などについて，現代の食生活の課題が理解できる。	定期考査	定期考査 ワークシート	ワークシート

			b:自身の食生活や現在の食生活の課題を発見し，課題解決のために思考し，解決に向けての判断ができる。 c:自分自身の食生活について関心を持つとともに，自分や家族の食生活について意欲的に改善・向上に努めようとする。			
		栄養と食品のかかわり	a:栄養・食品に関する科学的な知識や調理の技術を身につけ，それを実際の食生活に生かすことができる。 c:食品と栄養，調理との関係において，科学的な視点をもって，知識を深めようとしている。	定期考査 ワークシート		ワークシート グループでの話し合い
		食品の選び方と安全	a:旬の食材には何があるか，なぜ旬の食材がよいのかを理解している。 食中毒の予防法や，食品添加物の特徴をとらえることで，安全な食品について理解している。	定期考査		
		食事の計画と調理	a:栄養・食品・調理に関する基礎的な知識を生かしながら，献立を作成することができる。 a:調理実習を通して，日常の食事づくりに必要な調理技術を身につけ，献立作成から後かたづけまでの一連の流れを計画し実践できる。 b:栄養の機能と食品のかかわり，また食品の特性と調理との関係において，科学的な思考を身につけ,食品選択,栄養計算や献立作成など，実際の食事づくりにむけての判断ができる。 調理実習において，作業の流れを判断しながらとりくむことができる。 c:調理実習においては，積極的に参加し，取り組もうとしている。	定期考査 調理実習	定期考査 レポートの作成	レポートの作成 調理実習
		これからの食生活を考える	b:現在の日本の食生活におい		ワークシ	

			ての課題について調査などから発見し，解決の方法について，自分の考えをまとめることができる。		ート	
	自分らしい生き方と家族	自立と共生	a:青年期の課題である自立や男女の平等と相互の協力などについて理解できる。 c:男女共同参画社会など，現在の社会的状況について，興味を持って知ろうとする態度がある。	定期考査		ワークシート
		ライフキャリア	a:生活にかかわる労働の意義,また,現在の労働環境などについて理解できる。 現在の生活時間の状況をふまえ，生活時間と労働との関係について理解できる。 c:労働の意義や役割，労働時間と生活時間との関わりについて関心をもち,現在の家族・家庭がかかえる課題を見いだそうとする。	定期考査		ワークシート
		共に生きる家族	a:結婚、家族・家庭の多様化や、時代とともに変化する役割について理解できる。 b:図表などから家族の形、家庭のあり方や役割について、また時代とともに変化した背景について読みとることができ、現在の家族・家庭のあり方や役割について考えを深め、表現することができる。 b:家族・家庭に関する課題・問題点について、社会的な制度、労働環境や雇用情勢などの背景も考慮しながら原因を推測し、解決へ導くための考えをまとめ、討論やレポートを通して発表することができる。 b:家族の変遷や家族に関する意識の変化、さらには、現在の家族の抱える問題・課題などについて、新聞や書籍などから情報を収集し、自らの考えをまとめることができる。〃 c:結婚、家族・家庭の形、家族・家庭の役割について、自分と	定期考査	定期考査 発表 レポートの作成	グループでの話し合い レポートの作成

			どうかかわっているのか、興味・関心を持とうとしている。			
		家族に関する法律	a:家族に関する法律についての知識を身につけている。 c:家族，家庭生活に関する法律について関心を持ち，家庭生活と法律との関係について，理解をしようとしている。	定期考査		グループでの話し合い
3学期	子どもとかかわる	子どもとは	c:子どもの世界について，自分の子どもの頃を思い起こしながら，興味・関心を 持ち，子どもの生活について，積極的に子どもとかかわりながら，理解しようとする。 c:生命の尊さについて，自分の現在，将来と結びつけながら，学習しようとする意欲がある。			ワークシート
		子どもの発達	a:子どもの心身の発達や子どもの生活についての知識を身につけている。 b:子どもの心身の発達，現在の子どもを取り巻く状況や子育ての環境について，課題を見つけ，解決への考えをまとめることができる。	定期考査	定期考査 レポート の作成	
		子どもの生活	a:子どもとの接し方、子どもの衣食住にかかわる物づくりなどの技術を身につけている。 c:子どもとふれあう体験学習や、子どものためのおもちゃづくり、お菓子づくりなどの実践活動に、積極的に参加し、子どもの発達の様子や生活に興味・関心を持とうとしている。	定期考査		作品の製作
		子どもをはぐくむ	a:生命の尊さ、子育ての意義について理解することができる。 b:子どもとふれあう体験学習や、実践活動などについて、目的の設定、体験学習中の判断や学習後の考察などをまとめることができ、また、体験学習の成果や反省などについ	定期考査	保 育 実習 レポート	保育実習レポートの作成 グループでの話し合い 発表

			て、レポートを通して表現することができる。 b:準備、実施、考察・反省まで、体験学習の一連の学習内容をまとめることができる。 c:子どもをとりまく状況について、現状を知り、その課題を見つけ、解決に向けて考えようとしている。			
		子どものための社会福祉	a:子どもの発達段階において，子どもをとりまく人とのかかわり，地域環境・社会環境の重要性，子どもの福祉について理解できる。 b:子どもの生活やとりまく環境，また，現在の子育ての環境や地域社会や国の支援策や課題などについて，情報を収集し，まとめることができる。	定期考査	定期考査 グループでの話し合い 発表 親子交流実習レポート作成	
	住生活をつくる	人間と住まい	a:住まいの役割・機能について，地域の特性などをふまえて調査・研究ができる。	定期考査		
		住まいの文化	a:日本独特の生活様式と，それに伴う住まいの特徴を理解している。 b:現代のライフスタイルやライフステージに応じた住まいについて考えることができる。	定期考査	定期考査 ワークシート	
		住まいを計画する	a:住まいの機能・役割，またライフステージや家族構成などと住まいの関係について理解している。 b:ライフステージと住空間の設計の関係，住環境について考えを深めることができる。 c:住まいの機能，住空間の計画や住環境について関心をもち，快適な住まいづくり，よりよい住生活の創造にむけて意欲的に取り組もうとする。	定期考査	定期考査 グループでの話し合い 発表	グループでの話し合い 発表
		健康に配慮した快適な室内環境	a:日照・日射・採光・照明，通気・換気，冷暖房など，健康的な住まい環境における基本的な知識が理解できる。また，住まいの清掃やメンテナンスに	定期考査	定期考査 レポートの作成	

			ついても 理解し，快適な生活につなげることができる。 b:住まいの管理方法について，適切な掃除や頻度を考え，判断することができる。			
		安全な住まい	a: 住まいの安全対策，住まいにおける健康管理など，実生活に役立てることができる。 b:安全な住まいづくりや，快適な住環境のためにどのような課題があるのか見つけることができ，その課題解決のための方策を考えることができる。 暮らしやすい住まいについて，住空間だけでな く，周りの環境とも関係していることをレポートなどを通して表現できる。	定期考査	定期考査 グループでの話し合い レポートの作成	
		持続可能な住まいづくり	a:安全で快適な住まいや，社会環境・地域環境についての知識を身につけ，現在の住生活の課題についても認識できる。	定期考査		

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度